

# 週間漁海況情報—第6号

平成28年2月16日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

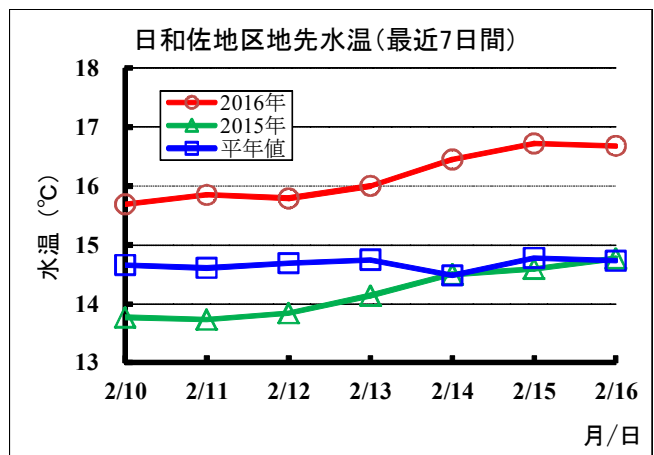
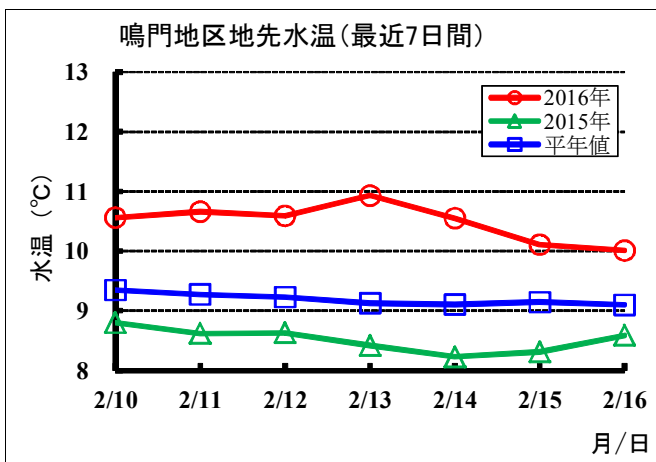
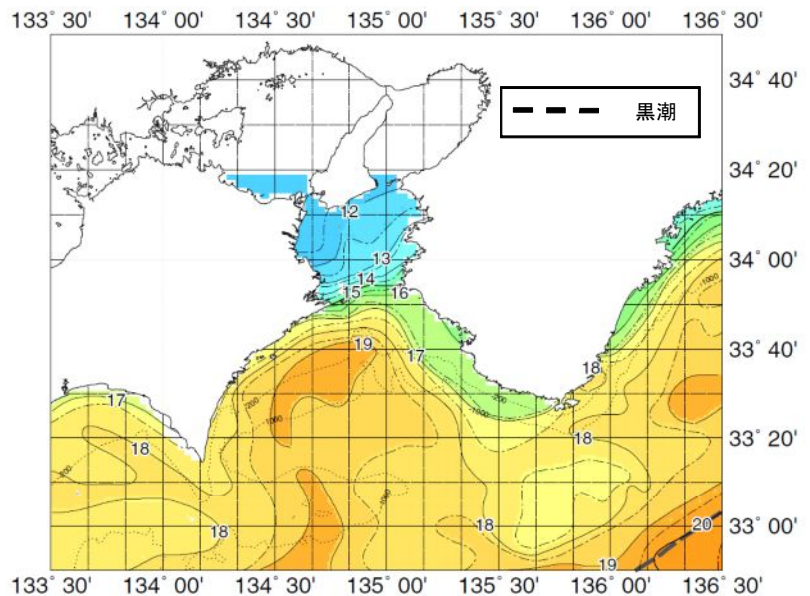
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H28.2.16）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でかなり離岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10～11℃台、紀伊水道で10～15℃台、海部沿岸では15～18℃台である。紀伊水道外域では、海部沖に19℃台の暖水域がみられる。



**地先水温**：最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の10.0～10.9℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の15.7～16.7℃、牟岐地区は「かなり高め」の16.8～18.1℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

\* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

## 2. 漁況の経過

**延縄**：海部沿岸で大主体にキダイが0.3トン（1日1隻あたり11kg）、大主体にゴマサバが0.9トン（同57kg）、シロサバフグが0.3トン（同27kg）水揚げされた。

**建網**：海部沿岸でヒラメが0.3トン（同6kg）水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸でマルソウダが0.6トン（同23kg）水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸で小主体にさば類が0.2トン（同27kg）、マルソウダが0.4トン（同52kg）、ハマチが0.4トン（同48kg）水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸でタチウオが0.8トン（同138kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2016年2月8日～2016年2月14日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	24	269	11	大主体
		ゴマサバ	15	851	57	大主体
		シロサバフグ	10	269	27	
建網		ヒラメ	48	281	6	
小型定置網		マルソウダ	27	629	23	
大型定置網		さば類	8	214	27	小主体
		マルソウダ	8	416	52	
		ハマチ	8	386	48	
釣り		タチウオ	6	825	138	

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年2月9日～2月15日には、海部沿岸では、延縄で大主体にキダイが0.6トン、サバフグが0.8トン、建網でヒラメが0.2トン、小型定置網で小主体にマアジが0.3トン、カタクチイワシが0.4トン、かます類が0.4トン、キビナゴが0.2トン、アオリイカが0.3トン、大型定置網でマメ主体にマアジが0.5トン、ハマチが0.9トン、大・中主体にサワラが0.2トン、釣りでマアジが0.2トン、特大・大主体にマサバが0.5トン、大主体にゴマサバが0.8トン、メジロが0.2トン、大・中主体にサワラが0.2トン水揚げされた。

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖で「かなり離岸」～「やや離岸」、潮岬沖において「やや離岸」～「かなり離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の9～10℃台、日和佐地先で「やや高め」～「高め」の15～16℃台で推移する見込み。